

危機管理学部新入生、在学生及びご家族の皆様へ

皆さん、今、私たちは未知の敵・新型コロナウイルスの拡散を防ぐための厳しい戦いに臨んでいます。私たち一人ひとりの行動により、私たちが住む社会を、そして世界をウイルスの脅威という危機から守れるかどうかの瀬戸際に立っているのです。

このような状況の中、一か月遅れとなりましたが、本学は開講の時を迎えることができました。講義は対面式ではなく、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用した遠隔授業方式で行います。大学としても、大半の教職員にとっても初めての試みであり、おそらく皆さんも初めて体験する授業形式と思います。

最初は戸惑いもあるかと思いますが、皆さんと教員が互いに協力して実効性ある講義にしていきたいと願っています。

以下に、年次ごとの要望事項を述べます。

○ 新入生

皆さんは入学宣誓式を行うことなく入学しました。また、中には一度も大学のキャンパスを見たことがなく、大学生になった実感をもてない人がいるかもしれません。しかし、皆さんは一人ひとり、入学を許可された千葉科学大学危機管理学部の学生であります。

現在は、不安定・不確実な状況ではありますが、大学で学ぶ機会を与えられたことを喜び、それぞれの目的、目標の達成に向かって力強く歩み続けて欲しいと願っています。皆さんのために各学科長及びチューターが中心となって大学での学び方について指導する態勢、準備を整えています。積極的にメール等で連絡を取り合っ

て学習を軌道に乗せるよう努めてください。

○ 2年次学生

2年次は大学での学びの充実期となります。1年次の秋学期から専門科目の基礎的事項を学んできましたが、2年次からは本格的に専門科目を履修することとなります。

5月7日の開講までにもう一度大学に入った目的を思い返して欲しいと思います。併せて卒業後の進路についても検討を始めて下さい。

○ 3年次学生

3年次は二つのことを同時並行的に行わなければなりません。一つは大学での学びを充実発展させること。もう一つは来年度4月以降の就職等の進路選択の準備を行うことです。

皆さんが希望をかなえるためには計画的に準備を進める必要があります。例えば、来年4月28日に就職試験があるとすれば、その受験日までにやらなければならない

いことを、年間のスケジュール表に記して、その一つひとつを確実に実行していかねばなりません。

大学での学びを充実させ、皆さんが望み通りの将来を切り開くためにも、今年一年が正念場であると認識してください。

○ 4年次学生

4年次は卒業研究をはじめ大学での学びの集大成の時期であり、先ず滞りなく卒業すること、そして、卒業後の進路を確定すること、この二つの実現のために全力を集中しなければなりません。各学科によって時期に多少の違いはあると思いますが、年内までには一人ひとりの望みが達成できるように頑張ってください。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種国家試験・資格試験、就職試験の日程及び要領が、例年と大幅に異なっています。そのことに十分留意をして準備してください。

新型コロナウイルスの災禍がどこまで拡大するのか、今はまだ予測できない状況にあります。しかし、私たちはこの戦いに勝つとの信念をもって行動しなければいけません。

第2次世界大戦当時、本土空襲による国土荒廃の危機に瀕した英国を率いたウィンストン・チャーチル首相は次のように述べて国民を鼓舞しました。

「Never never never give in !」

(絶対に屈服してはならない。絶対に、絶対に、絶対に！)

私たちが決して屈服することなく、自助(手洗いの確行、外出の自粛)と他助(飛沫を防ぐ、距離を保つ)を実行し、政府、自治体、大学から求められている感染拡大防止対策を愚直に実行していくことがなによりも重要です。

お互いにルールを守って行動しましょう！！

学生のご家族の皆様。私ども教職員一同、ご息様、ご息女様の健康と安全を因るため、でき得る限りの措置を取り、教育に当たって参ります。深いご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和2年4月28日

危機管理学部長 佐藤 庫八

危機管理学科長 木村 栄宏

環境危機管理学科長 八田 珠郎

保健医療学科長 福留 伸幸

航空技術危機管理学科長 山梨 明

動物危機管理学科長 小沼 守